

課題の 카테고리

★重要度の高い課題

市の施策の方向性

1. 湖西市の日本語教育に対するビジョンの示し方

人材(確保・研修)

2. 日本語教育コーディネーターがないこと

3. 日本語支援者に対する支援の検討

4. 若者世代の日本語支援への取り込み

相互理解

5. 「日本語カフェ」の対話交流型活動の在り方

コースデザイン(成人)

6. 湖西市民のための「生活Can Do」の検討

初期支援・コースデザイン(子ども)

7. 子どもの初期支援の仕組みが充分でない

8. 教育委員会の関わり

場所・機会(ハード)

9. 日本語ゼロの高校生年代未就学外国人の居場所

10. 教育実践する教室等の場所や機会が少ない

課題のカテゴリー

人材(確保・研修)

高校・大学・企業への働きかけ(人材・資金)

日本語教育を
実践のための
コーディネーター不在

外国人の多い自治体
なので日本語教育
コーディネーターが
いないのは問題

コーディネートする
人がいない

日本語指導が必要
な子どもに対する
教員不足

日本語支援者(教師
・ボランティア)に対
する支援の検討

生業にならない日本語教師
妥当な報酬額は?

日本語講師に対する
研修・講座が
なされていない

対応する講師が休むと
代替を探すのに苦労
していると感じる

日本語教育のための
人材確保

ボランティアの養成

通訳員・指導員への
負担が大きい
・文書の翻訳
・時間外の保護者対応

人材の不足
他市・バイリンガル支援員
・プレスクール講師

若者世代の日本語
支援のとりこみ

日本語教育を実践する
専門的なNPO団体等がない

日本語教師とボランティアの方の
役割の分担が必要か

課題のカテゴリー

コースデザイン(成人)

KOKOの活動に参加する外国人の意識調査

「日本語カフェ」における日本語教材の検討

湖西市民のための「生活CanDo」の検討

「日本語カフェ」における日本語教育内容の検討

日本語カフェの目標

地域日本語教室にふさわしいテキストは？

「日本語カフェ」の学習時間の検討

高いレベルの日本語を身につけたいという学習者のための中級クラスが不足気味

日本語教室レベル分け中級？

カリキュラムが体系化されていない

外国人の日本語教育のニーズとして「話すこと」が高いが、教科書が文法シラバスと合っていないと感じる

サバイバルジャパニーズを「まず」といった配慮はあるか

取り上げる内容が講師まかせとなっている

同じ講師が同じクラスをずっと担当している(エンドレス目標がないのでは?)

クラス分け(中級を除く)が今のままでよいか。

課題のカテゴリー

子どもへの初期支援 又は コースデザイン(子ども)

ニーズの増加、多様化への対応力不足

日本語ゼロの高校生年代(未就学)外国人の対応

高校生年齢で入国した子どもが日本語ゼロのときどうしているのか実態が不明

中学生年齢で入国した子どもが高校進学できる日本語力をつける場がない

子ども向け日本語教室の内容を重要度、必要度に合わせる作業が大切

子ども日本語<学習支援

発達障害か言語理解が不十分かの見極めが難しい

母語支援の場や機会がない

母語支援も大切だと聞くが学習する場があるかどうか

日常会話ができても、学校で学習についていけない子

ブラジル人学校へ通う子と市内の小中学校へ通う子

R4. 11人/28人初期支援を受けずに編入する児童生徒が多い

教育委員会の関わり

情報がもっとほしい
例.外国籍の高校生や大学生の体験談を聞ける場

中学卒業後の進路指導の困り(保護者への説明)

就学・母語支援のありかたの検討

子どもの初期支援の仕組みが充分でない

初期支援を受けたいけど、送迎ができないという家庭が多め

高学年途中編入の子ども支援

課題のカテゴリー

場所・機会(ハード)

外国ルーツの
子どもの居場所か
学習教室か？

教育実践する
教室等の場所や
機会が少ない

ニーズや在留資格の
違う学習者に対する教室の
在り方は？

日本語教室の場所が
主に2か所で、機会に
漏れる外国人が多い
のではないか

日本語教育の
ための施設(スペース)が
不足→そのため
新しい学習者を増やせない

日本語教室の周知
の方法としてSNSなどの
活用が不足気味では？

子ども支援
学校内では？

サマースクール
プレスクール
10回！

子どもの
教室
有料？

「ちきゅうっこひろば」の
学習時間の検討

課題のカテゴリー

重要度が高いとした課題

市の施策の方向性

KOKOが日本語教育を担うにあたりプロポーザル方式で決定でよいか？

日本語教育を担う機関としてKOKOが中心に位置づけられているか不安

子ども支援は委託事業？

文化庁事業の活用がされていない(経済的支援の未活用)

湖西市の日本語教育に対するビジョンの示し方

発信方法

湖西市に転入した外国人を日本語教室につなげる工夫、仕組みをより充実させる必要は？

課題のカテゴリー

相互理解

湖西市の日本人
住民が外国人住民に
接する態度

「日本語カフェ」
の対話交流型
活動のありかた

地域
連携